

放射線 たより ＊Radiation News＊

Vol.10, 2023(Dec)



地域の皆さまへ ～「放射線たより ＊Radiation News＊」をお届けします！～

CT コロノグラフィー検査について

CT コロノグラフィー検査とは内視鏡を使用せず、CT 撮影のみで大腸の精密検査を行う方法です。CT コロノグラフィー専用のガス注入器を用い、肛門から大腸に炭酸ガスを注入し、大腸を拡張させた状態で撮影を行います。

CT 撮影は検査台に寝て仰向けとうつ伏せの2回撮影を行います。CT 撮影で得られた輪切りの画像（横断像）を3次元画像に再構成し、実際の内視鏡で覗いているような画像（図1）や大腸全体を俯瞰するような画像（図2）を作成することができ、大腸病変の検出感度を向上させます。また、横断像を撮像しているため大腸だけでなく、大腸外の病変が見つかることもあります。

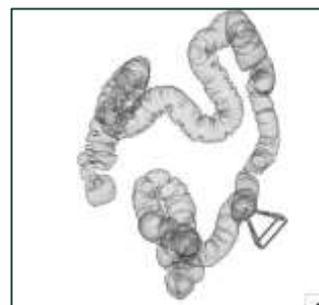


図1. 仮想内視鏡画像 図2. 仮想注腸画像

検査時間は、10分程度で終了します。当院の消化器内科医師が適切な検査を選択しますので、大腸検査が必要な方がいらっしゃいましたら、地域医療連携受付までお問い合わせください。

CT コロノグラフィー検査には、内視鏡と同様に便などが診断の邪魔になることがあるため前処置が必要です。検査の前日から検査の流れについては、裏面に記載しておりますのでぜひご参照ください。



ガス注入器



CT 横断像

地域医療連携受付

- 電話 072-469-7835（平日 9:00 から 18:00 まで 土曜日 9:00 から 12:00 まで）
- FAX 072-469-7931（画像診断依頼用紙 兼 診療情報提供書をご記入の上 FAX をお願いします）

ご不明点や診療の予約は地域医療連携室に電話で問い合わせいただくか、もしくは当院 HP をご覧ください

CT コロノグラフィー検査の流れ

○前処置（検査前日）

大腸の便（残渣）を少なくするために朝、昼、夕にそれぞれ検査食を食べて頂きます。

毎食後に造影剤(コロンフォート)を服用してもらいます。

寝る前には、下剤(マグコロール散)を服用し、前処置は終了です。そのほか、排便を促すために一日を通して水分をしっかり摂るようにしてください。

○検査当日

検査終了までお食事はできません。朝の飲み薬がある場合は事前に主治医にご相談ください。内視鏡検査とは違い、検査当日は下剤の服用は不要です。

○検査時

CT 検査室内で検査用の穴あきパンツに更衣をしていただきます。更衣後、検査台に左側臥位（左向き）で寝てから、看護師が直腸診を行います。直腸診が済みましたら、肛門内にチューブを挿入し、炭酸ガスを注入します。腸内にガスが充満したら、仰向け、うつ伏せの2回CT撮影を行います。検査は10分程度で終了です。

○検査後

検査後は普段通りお食事をしていただけます。検査で注入した炭酸ガスは速やかに吸収されるため、検査後の腹部膨満感や腹痛は通常ほとんどありません。

乳がんと放射線診療 —第1回マンモグラフィ—

2018年の全国がん登録データによると女性の癌の中で最も罹患者数が多いのは乳がんです。乳がんの診断には、マンモグラフィ、エコー、MRI等による画像診断が必要です。また、乳がんの手術後には放射線治療が追加されることもあります。このように乳がんの診断や治療の過程には放射線診療が密接に関わっています。今回から5回に渡り「乳がんと放射線診療」と題しまして当院の様々な関係モダリティについてご紹介していきます。

第1回 マンモグラフィ

マンモグラフィは乳房撮影専用のX線装置を使った検査です。普通のレントゲン装置とは異なり、乳房を撮影するための特殊なデザインとなっています。（写真1）

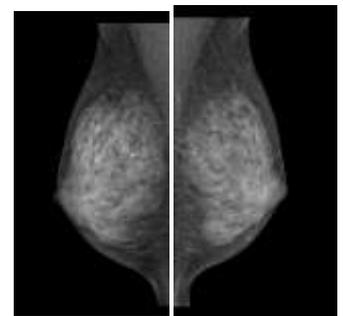
検査にかかる時間は10分程度で、圧迫板で乳房を片方ずつ挟んで撮影を行います。圧迫しながら撮影をすることで病変の描出能を上げ、かつX線による被ばく線量を減らすことができます。

マンモグラフィによる乳がん検診には科学的に死亡率低減効果が証明されており、2022年版乳癌

診療ガイドラインでは年齢が40歳に達した女性は2年に1回マンモグラフィを受けて頂くことが勧められています。



写真1



マンモグラフィの画像

★★★★★ 編集後記 ★★★★★

日本の大腸がん検診の受診率は低く、精密検査を必要とされた方の受診率も60%程度にとどまります。その理由のひとつに内視鏡検査への不安が挙げられます。CTコロノグラフィー検査は、その侵襲性の低くさから検査に対する不安を軽減できるメリットがあります。今後は、内視鏡検査を希望されない方の選択肢としても、広く普及するであろうと期待されています。（田原）

放射線部たより（Radiation News）

放射線科・放射線治療科・診療支援局放射線部門

発行責任者：中田耕平（放射線センター 長）

編集責任者：中前光弘（放射線センター 副センター長）

編集委員：田原大世、安永桂介、池本達彦、梅木拓哉、

今西麻梨子、高橋美帆、奥田響生、山本佑樹

Vol.10 発行日：2023年12月1日